

会員だより

耐えて耐えて十数年

柚子の花については、VG機輪のホームページ「四季彩(その2)」で紹介しました。

それから一年半過ぎました。去年は花が咲いて5個実りました。



鈴生りの柚子

今年はなんと3〜4米にも伸びた木1面に実をつけ、主人と45個とか60個とか賭けをしていたのに、もうすでに40個ぐらい収穫し、まだまだ残っています。本柚子らしく香りはすごく上々です。悩みは5cmくらいの棘があり、手を傷つけること、収穫後、実の乾燥が割合早く、折角の新鮮さが失われなかと心配しています。冬至頃まで木に残せば良いなと思っています。香辛料や薬味の他、直接食用に柚子餅・ゆず茶・柚子釜や皮の青いとき、

皮を摺って、青唐辛子を混ぜて柚子胡椒にも使えます。

最近行ったレストランでも、この季節の旬のデザートとして、シャーベットに柚子の細切りが入っていました。

近年ではスペインの有名な日本系レストランで柚子を宣伝したのが発端になり、西洋料理に使われるようになったとテレビの紹介がありました。毎日、実を沢山と心豊かになります。

桃栗3年柿8年、柚子の大馬鹿18年「まさに十数年待ちました。」

記… 上村 サト子

動物園散策

秋晴れの日、天王寺動物園へ行きました。午前11時20分集合で、すぐ目の前にあるのですが、タクシー2台に分乗し動物園へ。(希望者のみ、数日に分けて実施、今日は5名の参加で車椅子の方が2名、徒歩が3名でした。付き添いはヘルパーさん3名)通天閣の方の正面入り口から入場します。入って直ぐの広場には、小学1年生らしい子供たちが、たむろしています。そういえば私も小学生のとき、遠足に來たなあと

思い出しました。

丁度お昼でしたから、着いて早々ですがお弁当です。空いているベンチにそれぞれ座って「なだ万」のお弁当をいただきます。なだ万というので期待大でしたが、そこは「コファン」らしく健康的な内容で美味しかったです。いつも柔らかいご飯なので、私は久しぶりで歯ごたえのあるご飯を美味しく噛みしめました。

腹ごしらえも出来たので、いよいよ出発です。

まず、河馬の池です。池の岸辺の水中に河馬が顔だけ出して沈んでいます。その上や周囲に鳥たちが集まっています。なにか鳥の欲しいものがあるのでしょうか。

次は犀のコーナーですが、姿が見えませんが、お休みかなと思っていると、ノシノシという感じで一頭の犀が岩陰から現れました。そしてその辺を一周して直ぐまた岩陰に隠れてしまいました。まるで私たちのために、顔見世をしてくれたように。



キリンと縞馬

次がキリンのゾーンです。

キリンは縞馬と同居しています。前に通天閣からみたとき、縞馬が歩道を歩いているように見えたが、そんなことはありませんでした。アフリカの猛獣たちは、夜行性で昼は眠っている

と聞きましたが、ほんとうにライオンも虎もぐつたりと寝そべっています。起きているライオンも私たちにはそ知らぬ顔でそっぽを向いています。しかしさすがは百獣の王、横顔でも威厳があつて立派でした。カメラを構えて



「こっち向いて」と届かぬながら声をかけると、それに

ように大あくび。思わず笑つてしまいました。次は中国のおかみの檻です。いただいたのか、買ったのかたくさんいました。小学生が3、4人写生しています。

小休憩のあと、ペンギンやマンドリル、亀など名前が覚えきれません。それだけ回って全体の三分の二くらい見られたでしょうか。

私の感じでは昔とあまり変わらな展示のようやや物足りないものがありまし

た。近頃のナントかサハリのような、もつと自然の動物の生き様の感じられるような施設があればと、いろいろの制約は察しられつつ残念な気がしました。

さて私たちですが、1人の車椅子の方は、もつと見たいと言うことで、ヘルパーさんに押してもらつて、全部みてこられたようです。日ごろ感情があまり表情に出ない方なのに帰つて來られたとき、にこりと笑顔が見えました。ああ、よかったな」と私はこの施設の計画の意味を理解し嬉しくなりました。徒歩の3名は、私は杖なし、1人は杖、1人は手押し車でしたが、3人とも歩きとおしました。私はお二人の方が歩けるかなと内心危ぶんでいました

が、なんとお二人ともしやんしゃんしておられ、私はすっかり草臥れてしまいました。でも楽しく有意義な一日でした。

記… 牧戸富美子

国史跡

「備中松山城」

岡山県高梁市臥牛山の、そびえる天空の城」を撮影

のため午前2時に富田を出発していつてきました。

NHK大河ドラマ「真田丸」、迫力あるオープニングの映像として登場しています。

天守「二重櫓」三ノ平櫓東土塀」は国指定の重要文化財として登録されています。



仁治元年(承久の乱)後戦功のあつた秋庭三郎重信が築城後16代続き幕末徳川慶喜を補佐した板倉勝静に至る。

慶應4年明治新政府の命により岡山藩主池田茂政となり明治2年松山を高梁と改名する。昭和2年旧制高梁中学校に就任した「信野友春氏」の備中松山城調査報告により修復の機運が高まり昭和3年〜平成12年と長期にわたり、昭和、平成の大修復工事をして現在に至っている。

記… 成本ヒミカ